



北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月30日 ●事務所/北二条ビル 3階 302号 ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス <http://www.kitamirc.jp>

第 3308 回例会・2020 年 10 月 7 日

本日のプログラム

新入会員卓話

「やっぱり聖徳太子は実在した～飛鳥時代に魅せられて～」

大幸建設(株) 代表取締役社長 佐々木 雄一 会員

2020～2021年度国際ロータリーテーマ

『ロータリーは機会の扉を開く』

R. I. 会長 ホルガー・クナーク

第 3307 回例会（9月23日）の記録

司会 石川(孝) 親睦活動副委員長

ロータリーソング 四つのテスト

会長挨拶 岡村会長

皆さんこんにちは。9月に入りまして2回の夜間例会があったものですから、あつという間に4回目の例会という事でございます。

さて、地区の方から本年度の委員会の委嘱状が届いておりますので、下元会員と帰山会員にお渡ししたいと思います。

段々と秋も深まって参りました。十五夜お月様というのは皆さんもよく聞かれていますかと思いますが、よく「中秋の名月」なんて言いますが、今年はいつかご存じの方はいらっしゃるでしょうか？旧暦で7月、8月、9月が秋で、その中秋でございますので8月15日が十五夜。今年は10月1日がこれに当たります。中国の風習で里芋が出来る時期という事で「芋名月」と呼ばれていたらしいのですが、当時は団子ではなく芋を食べていたという事でございます。実は他にも名月があって、「十三夜」というのが実はあるのです。こちらは晩秋ですので、旧暦の9月13日、日付でいうと10月29日になるそうです。こちらの方が実は日本古来の名月だそうで、調べてみたら919年に醍醐天皇がお月見の会を開いたのが始まりのようです。やはりこちらもこの時期に大豆や栗を食べるとい事で「豆名月」や「栗名月」というような呼び方をしていたそうです。月見という事で言うと、もう一つマイナーなものがあります。「十日夜」というのですが、多分殆どの方は知らないと思います。旧暦の10月10日に行います。これは東北中心らしいのですが、要は収穫祭です。

「案山子上げ」と行って、案山子を天に帰す為の名月らしいのですが、これが今年で言う11月24日という事で、北海道でやるにはちょっと寒いので、もし見るのであれば防寒具を着て欲しいなと思います。昔からこの「十五夜」「十三夜」「十日夜」というのは晴れて見られると凄く縁起が良いと言われていました。が、逆に「十五夜」と「十三夜」を違う庭で見ると「片見月(かたみづき)」と言って縁起が悪いという事でございますので、もし見る機会があるのであれば十五夜から必ず見て欲しいと思います。来週の木曜はお月見、十五夜でございますので、もし良かったらお庭から見て頂ければと思っております。

幹事報告 小池幹事

1. R I の方から第7回日台ロータリー親善会議福岡大会中止のご案内が来ております。

委員会報告

坂井ロータリー情報委員長

上期の情報集会を実施して頂くという事で、ロータリー情報委員会としましては、「ロータリーの知識や理念、それから目的を理解していただく場を提供する」となっておりますので、別紙の通り実施させて頂きます。開催日時は10月19日から31日まで。場所等についてはリーダーに一任。10月7日迄に決定したら坂井までFAXを頂きたいと思っております。費用はクラブより2,500円の補助という事になっておりまして、当日皆さんから頂いた差額はその会場でお支払い頂いて、2,500円をクラブの方に請求頂くか、現金で建て替えた場合は金田会計と相談をして頂きたいと思っております。これはメーカーの対事業となりまして、コロナで大変な時期ではございますが、やはり我々は経済を回すという事もありますので、是非とも参加してもらいたいと思っております。

それと、新入会員オリエンテーションのご案内という事で出席対象の方に再度ご案内を差し上げました。



10月14日(水)18時30分、ホテル黒部、会費2,000円という事で、10月7日までに事務局まで出欠報告をして頂きたいと思っております。

プログラム 新入会員卓話 「芽の輪と私」

(株)サン園芸 代表取締役社長 戸田 龍一 会員



今日の卓話のテーマ『芽の輪と私』という事なのですが、実はこの『芽の輪』というのは、毎年北見神社に12月から設置しまして、最近ではすっかり北見の冬の風物詩という事になっております。これは昭和61年に私共が奉納させて頂いて今年で34年目という事で、私は68歳、丁度半分という事です。芽の輪までの自分の半生を、自己紹介を兼ねて赤裸々に話してみたいなと思っております。

昭和50年に父親が47歳で脱サラをしまして今のサン園芸を創業しました。私も当然のように北見に帰って来て入社します。入社と言ってもその頃は、父ちゃん、母ちゃん、兄ちゃんの三ちゃん経営ですので、よく話すのは、うちのじいさん…親父ですけれども、じいさんが会社を起していなければ、自分は多分何処かで野垂れ死にしたのだらうと、会社があったから今があるのかなと、本当にそう思います。

その後、仕事は一生懸命していたのですが、今まで何も考えないで生きていたので、世の中の事をよく知らないし、深くも考えない。そんな中で自分を変える最大の機会を与えてくれたのが青年会議所だと私は思います。会社については評価が分かれますが、本当に社会の事など、経済やら指導力だとか自己修練だとか、私は全然そういう感覚が無かったので、そこに強烈な先輩方がいる事により色々刺激を受けました。

会社も創立して11年で、私も本当に忙しかつたのですが、セミナーを2回開催しました。当時は食管制度というのがあり、1回目は食糧事務所の所長を呼んで話を聞いたのですが、その後食管法が改正されて自主流通米というのがある時代でした。そして多分10年後には情勢の変更で食管制度というものが廃止された訳です。2回目は、訓子府に当時水稲試験場がありまして、研究員の方にお話を聞いたのですが、それは稲作の北限地帯の品種改良という事をやっていたんです。現在は比布の方に移って、結局それより北は米を作らなくてもいいというのが国の政策なのだろうと思っております。この地域の殆どがうるち米ではなくもち米というのがそういう事の背景かなと思っております。

セミナーを踏まえて、お米と日本人、日本国は切り離せない、葦原の瑞穂の国日本と、一面黄金色に輝いたわわな稲穂、日本人の原風景だろうという事で、特別セミナーを2回開催したのです。その時の講師が当時北見神社の禰宜さんだった村井之也さんです。その村井さんからある時「ちょっとやりたい事があるんだ」と言われました。何かというと「芽の輪」の事なのです。「芽の輪」というのは芽ですから、夏の行事として厄払いに使っていて、それを稲藁で1年の厄除けに作りたいたいんだという事だったのです。私もそれで悪乗りで延長なのですが、春に端野の農家さんの田圃の一角を借りて田植えをしました。担当三役とかメンバーで。そこで収穫されたお米は年末家族で餅にして食べたのですが、稲藁を使ってその芽の輪が出来ないかというのは之也さんからの相談だった訳であります。そんな事で、丁度私も注連飾りを扱っていて、その製造元に相談して図面を貰って作成する事が出来たという事になります。12月6日に三役とか委員会メンバーが参列して、神殿の中で奉納式を行って、感謝状が今も会社にありますが、それ以降は会社が長く限り奉納しますよというのが之也さんとの約束だった訳であります。その事があって、34年間今の会社があるのかなと思っておりますし、これからも「芽の輪」と共に会社が存続出来ればと思っております。

今回のコロナの影響で、すっかり家にいるのが染みついて怠け癖がつき、出来れば昔の夢だったぐうたら生活を送りたいなと思っております。今年も1月1日に、北見神社にて「芽の輪」が設置されますので、1回では中々厄が落ちない人もいられるでしょうけれども、粘り強く諦めずに参拝して頂ければと思っております。



出席報告 田巻出席委員長

出席報告	例会日	会員総数	出席免除	総出席計算数	例会出席免除者	事前マークアップ	事後マークアップ	確定計算出席数	出席率
計 算 式		A	B	C	D	E	F	C+E+F	$\frac{C+E+F}{A-B+D} \times 100$
本 日	9/23	61	7	41	2	0	-	-	73.21%
前 回	9/16	61	7	43	2	0	-	-	73.21%
前々回	9/9	61	7	48	2	0	-	-	85.71%
確 定	9/2	61	7	45	3	0	-	-	78.94%

【次回10月14日】 ゲスト卓話 「マレーシアでの新型コロナウイルス体験談」

米山奨学生・北見工業大学 タン・ペイユ 様

編集後記 季節の変わり目ですので体調管理にご注意ください！

(A.K)

2020～2021年度 北見R.C.活動方針

ロータリーの上質を目指しましょう

ガバナー・ノミネーとは

地区指名委員会手続により指名されたガバナー被指名者のこと、ガバナーに就任直前の2年以上3年以内に選出されるものです。